

教科名	科目名	履修学年	履修区分	単位数
理科	生物基礎	2年 スーパー特進コース 理科系	選択	2

目 標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
教科書	生物基礎 (数研出版)
副教材	改訂版 リードα生物基礎+生物 (数研出版) 2024 生物重要問題集 生物基礎・生物 (数研出版) 二訂版 ニューステージ生物図表 (浜島書店)
授業形態	講義形式やグループワーク形式で行う。
評価規準	<p><知識及び技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 生物や生物現象は多様であっても、すべての生物に共通した基本的な機能や普遍的な特性が存在していることを理解している。 現存している生物は起源を共有していることを理解している。 観察、実験を行い、基本操作を習得することができる。 観察、実験の過程や結果を的確に記録、整理することができる。 生物や生物現象に関する概念や規則性を理解し、課題に対して科学的な見方や考え方を身に付けている。 <p><思考力・判断力・表現力></p> <ul style="list-style-type: none"> 生物や生物現象の中に課題を見いだし、観察、実験などを通して探求することができる。 探求する過程を通して、科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。 <p><主体的に取り組む態度></p> <ul style="list-style-type: none"> 自然の事物・現象に関心や探究心をもち、日常生活や社会に関わる生物に対して授業に関連する事柄を中心に自ら課題を見つけ、意欲的にそれらを探求する態度を身に付けている。
評価方法	小テスト、単元テスト、授業への取り組み状況等を考慮し、総合的に判断して評価する。
学習上の留意点	毎回の授業を大切にしてください。次に、家庭学習の計画をしっかりと立て、自分の力で問題を解く習慣を身に付けてください。家庭学習の計画を立てる際、問題集や Web を活用し、基礎・基本を定着させましょう。入試ではグラフや図を読み取り、科学的に考察する問題が多く出題されるため、単に重要用語を覚えるだけでなく、一連の流れを理解し、説明できるように心がけてください。

授業計画及び試験計画 [生物基礎 2年 スーパー特進コース 理科系]

内 容		4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
生物の特徴	生物の多様性と共通性	■																																			
	エネルギーと代謝		■	■																																	
	光合成と呼吸				■	■	■																														
遺伝子とのはたらき	遺伝情報とDNA							■	■																												
	遺伝情報の複製と分配							■	■	■																											
	遺伝情報の発現													■	■	■																					
ヒトの体内環境の維持	体内での情報伝達と調節																■	■																			
	体内環境の維持の仕組み																■	■																			
	免疫のはたらき																			■	■	■															
生物の多様性と生態系	植生と遷移																						■	■													
	植生の分布とバイオーム																									■	■										
	生態系と生物の多様性																												■	■	■						
	生態系のバランスと保全																															■	■	■			
凡 例																																					
■ 授業計画																																					